

令和4年度に各児童相談所及び各市町村で対応した児童相談の状況及び児童虐待相談の状況は下記のとおりでしたのでお知らせします。

令和5年6月29日
島根県健康福祉部青少年家庭課
児童・女性相談係
担当：狭間、福代
電話：0852-22-6393

令和4年度 児童相談の状況について

1 児童相談の対応状況

令和5年6月
青少年家庭課

相談種別	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村	
養護相談 (虐待相談を含む)	1,099	44.1%	530	62.7%	1,269	47.4%	557	54.0%	1,138	48.0%	697	68.5%
保健相談	0	0.0%	5	0.8%	1	0.0%	7	0.7%	0	0.0%	3	0.3%
障がい相談	969	38.9%	28	5.8%	1,071	40.0%	42	4.1%	955	40.3%	19	1.9%
非行相談	53	2.1%	5	0.6%	48	1.8%	5	0.5%	48	2.0%	5	0.5%
育成相談	329	13.2%	169	16.5%	246	9.2%	247	23.9%	204	8.6%	165	16.2%
その他	40	1.6%	256	13.7%	45	1.7%	174	16.9%	25	1.1%	128	12.6%
合計	2,490	100.0%	993	100.0%	2,680	100.0%	1,032	100.0%	2,370	100.0%	1,017	100.0%

※小数第二位四捨五入

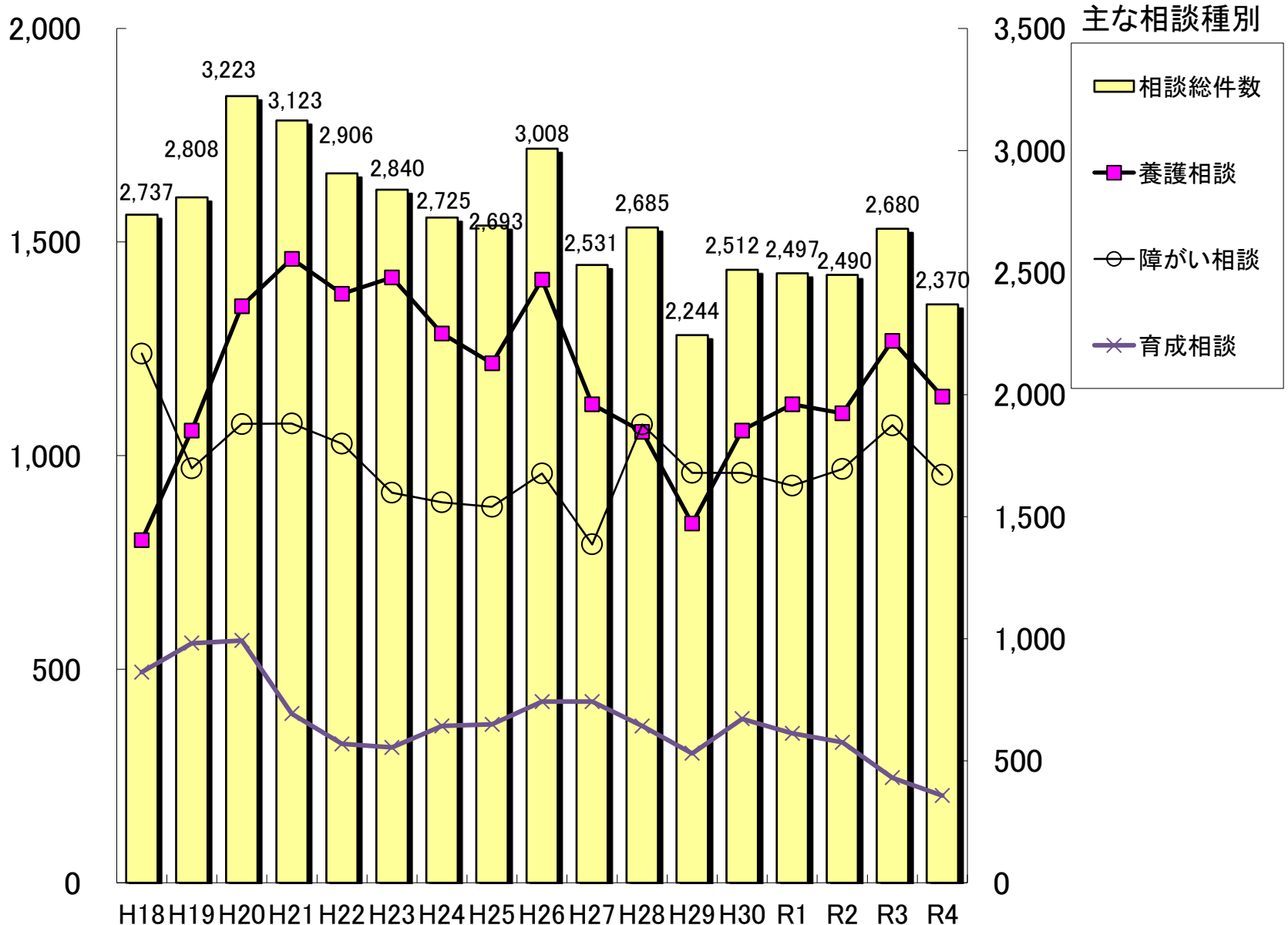
○令和4年度の対応件数は、児童相談所で2370件（*前年度比：310件減/約11.6%減）。市町村は1017件（*前年度比：15件減/約1.5%減）

○相談種別は、児童相談所は養護相談が最も多く、次いで障がい相談、市町村では養護相談が最も多く、次いで育成相談となっている。

相談種別件数
(折線グラフ)

児童相談所における児童相談対応状況の推移

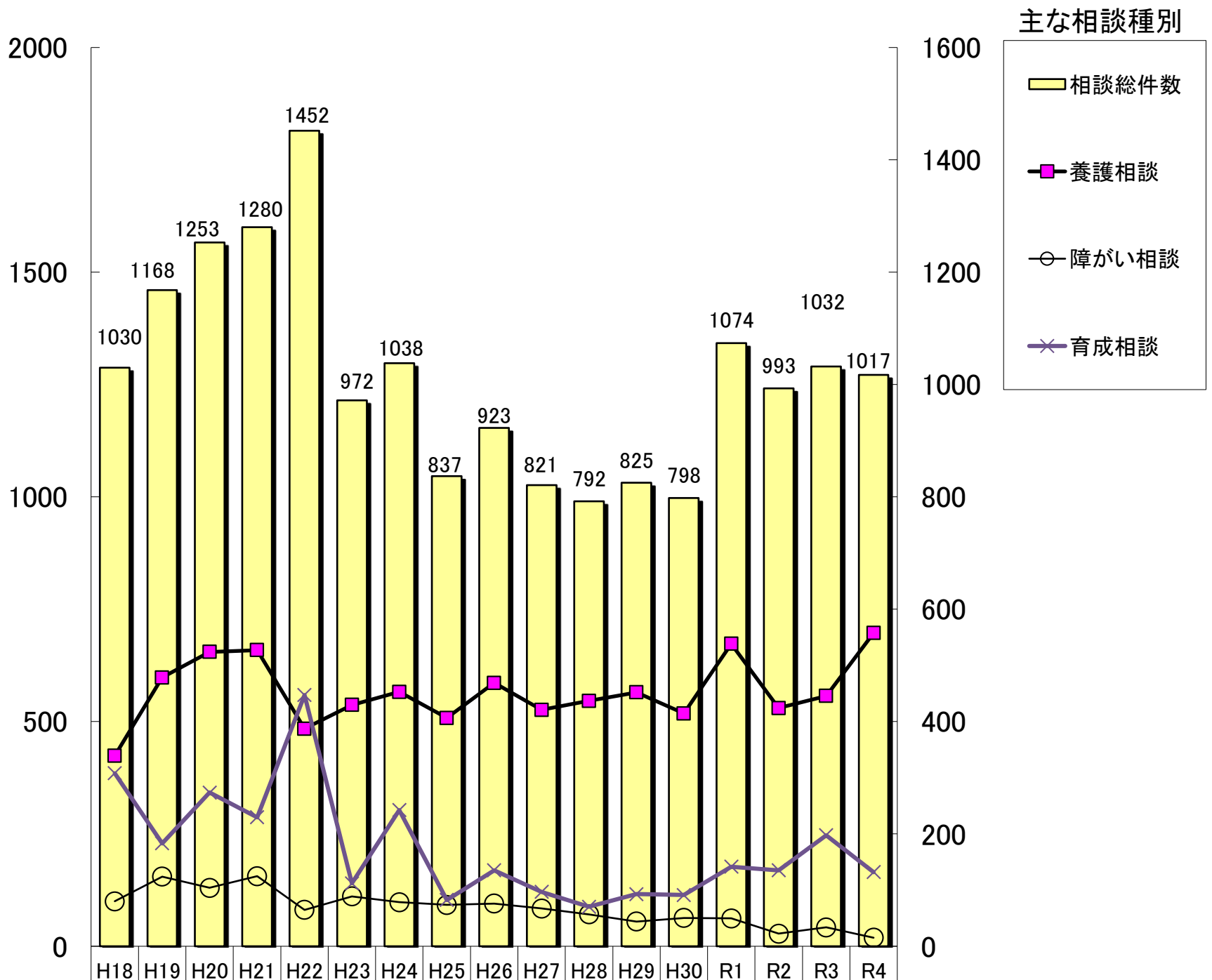
総件数(棒グラフ)



相談種別件数
(折線グラフ)

市町村における児童相談対応状況の推移

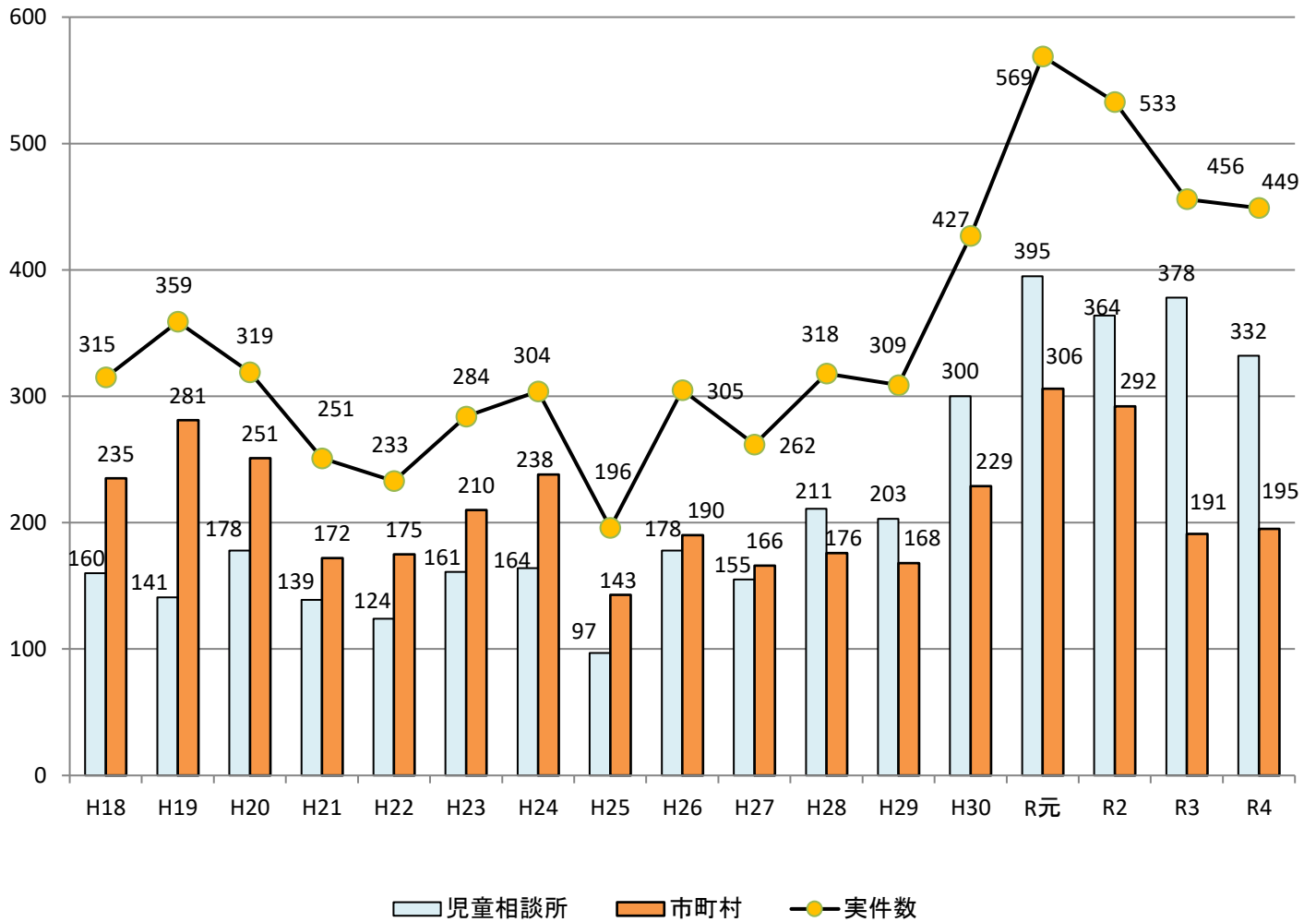
総件数(棒グラフ)



《参考》相談の種類及び主な内容

1. 養護相談	父又は母等保護者の家出、失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難児、迷子、児童虐待等の環境的問題を有する児童、養子縁組に関する相談
2. 保健相談	低出生体重児、虚弱児、ツベルクリン反応陽転児、内部機能障がい、小児喘息、その他の疾患(精神疾患を含む)を有する児童に関する相談
3. 障がい相談	肢体不自由、視聴覚障がい、言語発達障がい、重症心身障がい、知的障がい、発達障がいに関する相談
4. 非行相談	
ぐ犯行為等相談	虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等のぐ犯行為、問題行動のある児童、警察署からぐ犯少年として通告のあった児童等に関する相談
触法行為等相談	触法行為があったとして警察署から通告のあった児童、犯罪少年に関して家庭裁判所から送致のあった児童に関する相談
5. 育成相談	性格行動、不登校、適正(進学適性・職業適性・学業不振等)、育児・しつけに関する相談
6. その他の相談	上記のいずれにも該当しない相談

○児童虐待相談対応(認定)件数の推移



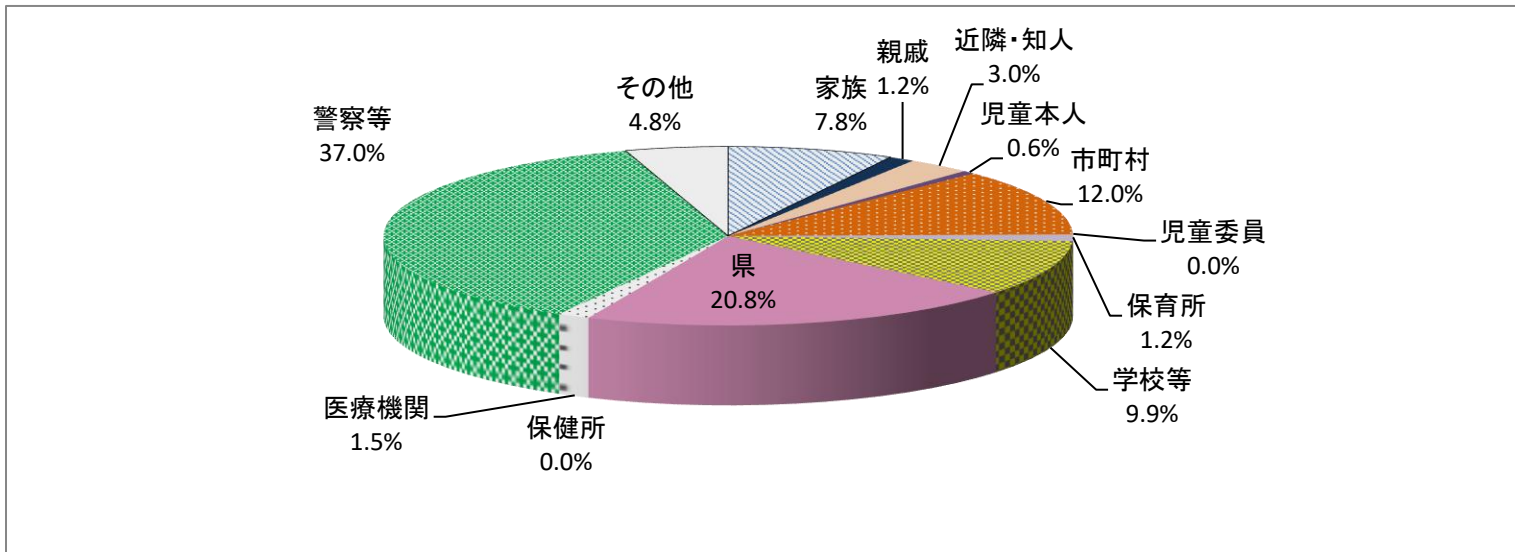
- 令和4年度の児童虐待相談の対応（認定）件数は、児童相談所が332件（前年度比約12.2%の減）、市町村が195件（前年度比約2.1%の増）となった。
- 児童相談所と市町村で連携して関わった重複ケース78件を除くと、県内で新たに児童虐待相談として対応（認定）した件数は449件で前年度比約1.5%の減となった。

- ・令和 2年度：533件《364件（児童相談所分）+292件（市町村分）-123件（重複分）=533件》
- ・令和 3年度：456件《378件（児童相談所分）+191件（市町村分）-113件（重複分）=456件》
- ・令和 4年度：449件《332件（児童相談所分）+195件（市町村分）-78件（重複分）=449件》

(1)- 1 受付経路(児童相談所)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
R2年度	34	4	8	0	58	0	5	62	82	0	8	96	7	364
	9.3%	1.1%	2.2%	0.0%	15.9%	0.0%	1.4%	17.0%	22.5%	0.0%	2.2%	26.4%	1.9%	100.0%
R3年度	41	2	15	4	56	0	3	54	70	0	10	107	16	378
	10.8%	0.5%	4.0%	1.1%	14.8%	0.0%	0.8%	14.3%	18.5%	0.0%	2.6%	28.3%	4.2%	100.0%
R4年度	26	4	10	2	40	0	4	33	69	0	5	123	16	332
	7.8%	1.2%	3.0%	0.6%	12.0%	0.0%	1.2%	9.9%	20.8%	0.0%	1.5%	37.0%	4.8%	100.0%

○令和4年度 児童相談所における児童虐待相談受付経路

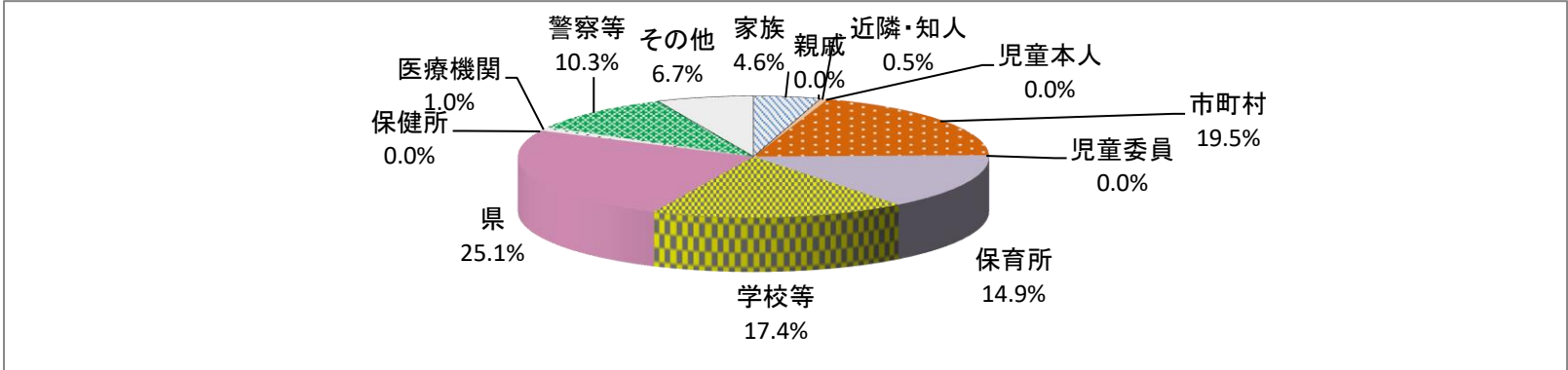


- 児童相談所に寄せられた児童虐待相談は、警察等からが123件（前年度比16件の増）で最も多く、全体に占める割合は37.0%となっている。次いで県、市町村、学校等からとなっている。
- 児童相談所への通告件数については、令和2年度が768件、令和3年度が724件、令和4年度が786件となっており、前年度に比べ62件（約8.6%）増加している。

(1)- 2 受付経路(市町村)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
R2年度	16	6	0	0	53	1	38	56	49	0	7	38	28	292
	5.5%	2.1%	0.0%	0.0%	18.2%	0.3%	13.0%	19.2%	16.8%	0.0%	2.4%	13.0%	9.6%	100.0%
R3年度	13	0	5	0	51	0	4	42	47	0	0	15	14	191
	6.8%	0.0%	2.6%	0.0%	26.7%	0.0%	2.1%	22.0%	24.6%	0.0%	0.0%	7.9%	7.3%	100.0%
R4年度	9	0	1	0	38	0	29	34	49	0	2	20	13	195
	4.6%	0.0%	0.5%	0.0%	19.5%	0.0%	14.9%	17.4%	25.1%	0.0%	1.0%	10.3%	6.7%	100.0%

○令和4年度 市町村における児童虐待相談受付経路

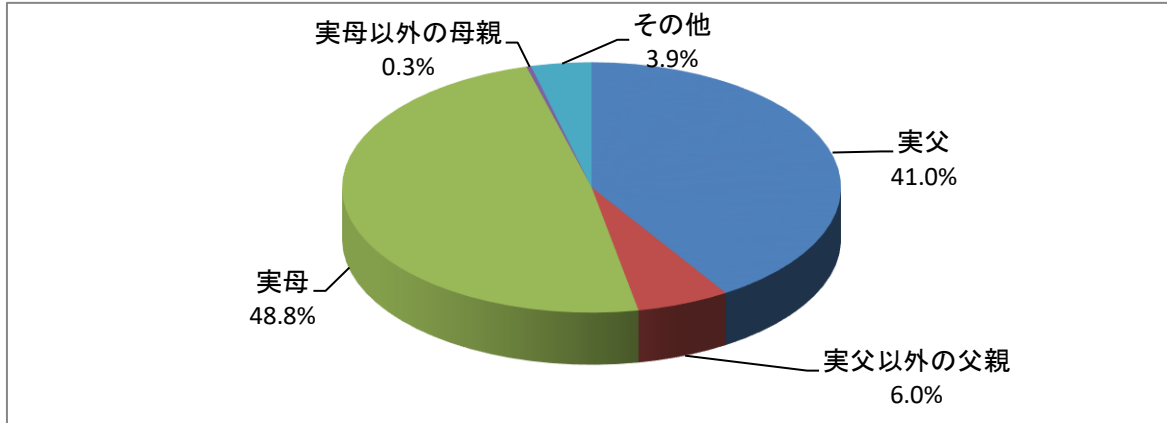


- 市町村に寄せられた児童虐待相談は、県（児童相談所等）からが最も多く、次いで、市町村（他市町村、他部署等）、学校等からとなっている。

(2)-1 主な虐待者(児童相談所)

区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母		その他		計	
R2年度	138	37.9%	27	7.4%	184	50.5%	2	0.5%	13	3.6%	364	100.0%
R3年度	165	43.7%	26	6.9%	166	43.9%	4	1.1%	17	4.5%	378	100.0%
R4年度	136	41.0%	20	6.0%	162	48.8%	1	0.3%	13	3.9%	332	100.0%

○主な虐待者

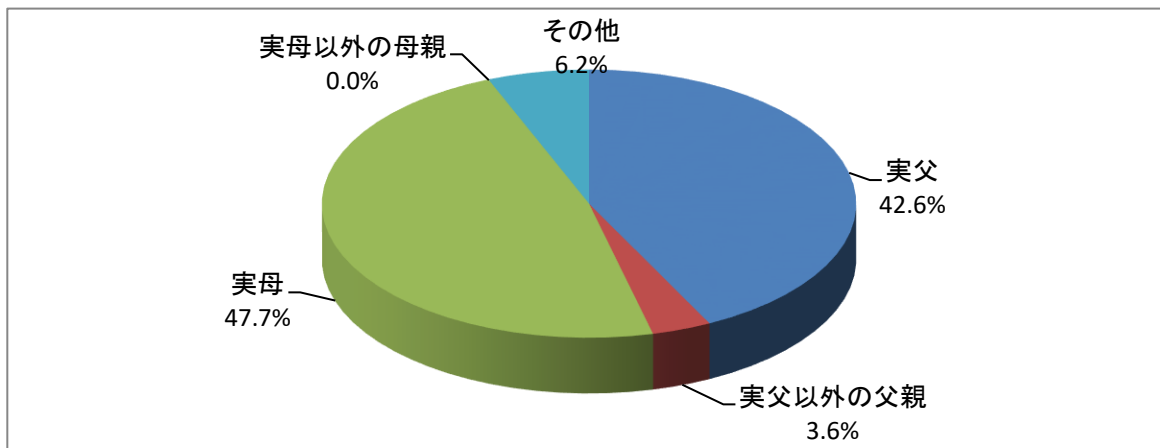


○主な虐待者は、実母が162件（48.8%）と最も多く、次いで実父が136件（41.0%）、実父以外の父親が20件（6.0%）となっている。

(2)-2 主な虐待者(市町村)

区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母		その他		計	
R2年度	128	43.8%	13	4.5%	137	46.9%	1	0.3%	13	4.5%	292	100.0%
R3年度	69	36.1%	11	5.8%	100	52.4%	1	0.5%	10	5.2%	191	100.0%
R4年度	83	42.6%	7	3.6%	93	47.7%	0	0.0%	12	6.2%	195	100.0%

○主な虐待者

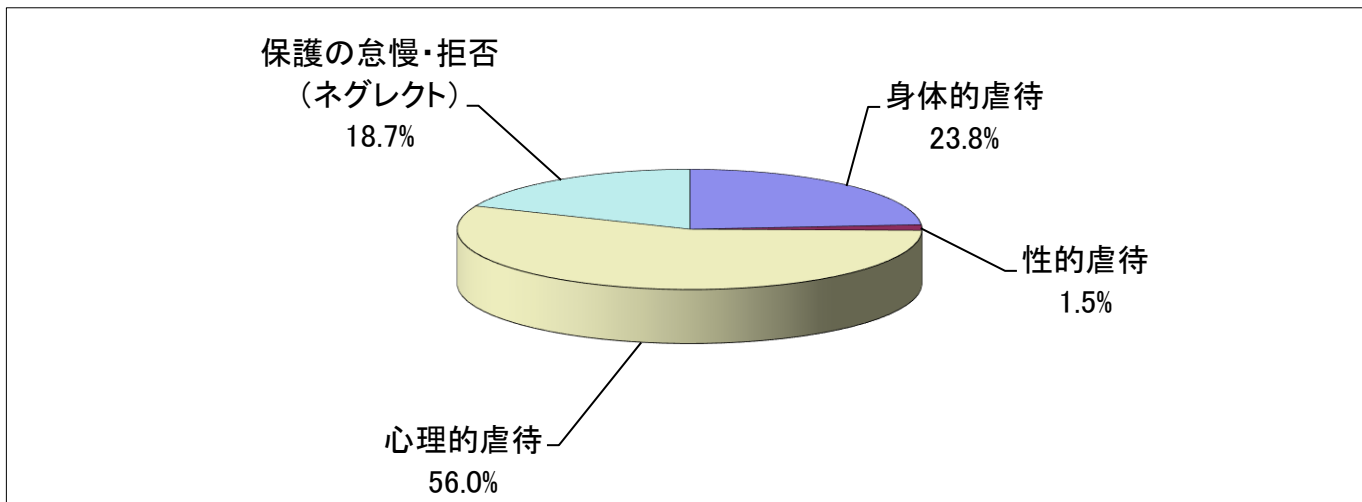


○主な虐待者は、実母が93件（47.7%）と最も多く、次いで実父が83件（42.6%）、その他12件（6.2%）となっている。

(3)-1 虐待種別(児童相談所)

区分	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
R2年度	80	22.0%	7	1.9%	191	52.5%	86	23.6%	364	100.0%
R3年度	91	24.1%	1	0.3%	205	54.2%	81	21.4%	378	100.0%
R4年度	79	23.8%	5	1.5%	186	56.0%	62	18.7%	332	100.0%

○虐待種別

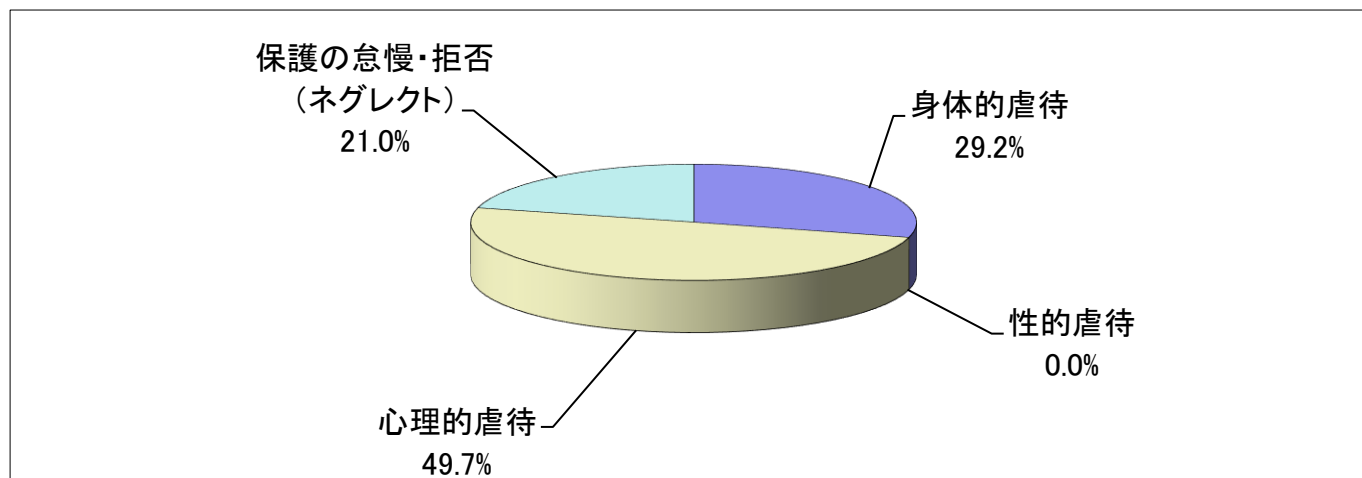


○虐待の種別を見ると、心理的虐待が186件（うち面前DV等が66件）（56.0%）で最も多く、次いで、身体的虐待が79件（23.8%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が62件（18.7%）となっている。

(3)-2 虐待種別(市町村)

	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
R2年度	85	29.1%	4	1.4%	154	52.7%	49	16.8%	292	100.0%
R3年度	51	26.7%	1	0.5%	94	49.2%	45	23.6%	191	100.0%
R4年度	57	29.2%	0	0.0%	97	49.7%	41	21.0%	195	100.0%

○虐待種別

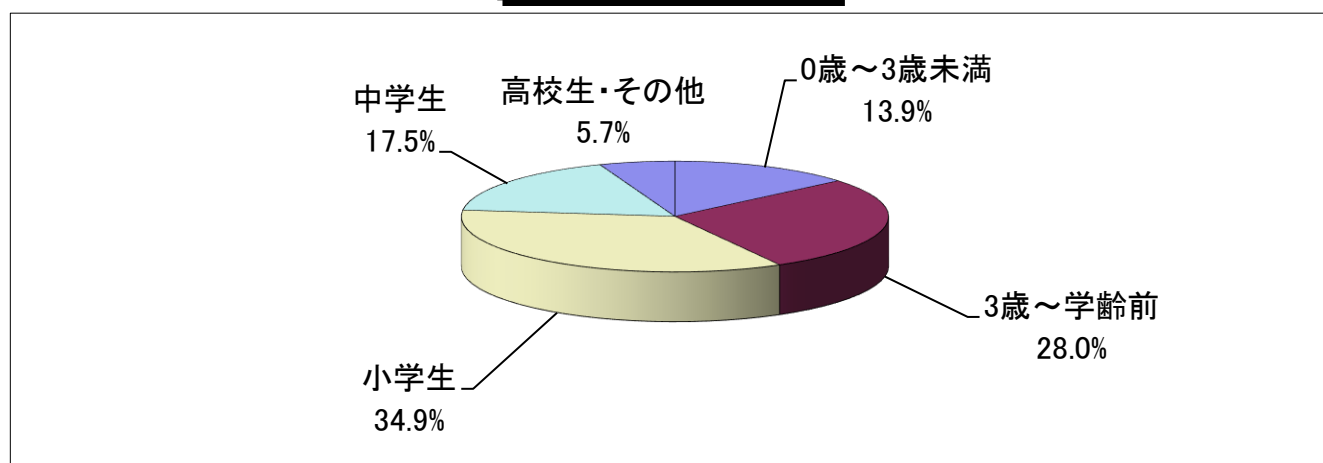


○虐待の種別を見ると、心理的虐待が97件（うち面前DV等が40件）（49.7%）で最も多く、次いで、身体的虐待が57件（29.2%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が41件（21.0%）となっている。

(4)-1被虐待者の年齢(児童相談所)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2年度	56	15.4%	98	26.9%	139	38.2%	55	15.1%	16	4.4%	364	100.0%
R3年度	52	13.8%	89	23.5%	145	38.4%	65	17.2%	27	7.1%	378	100.0%
R4年度	46	13.9%	93	28.0%	116	34.9%	58	17.5%	19	5.7%	332	100.0%

○被虐待者の年齢

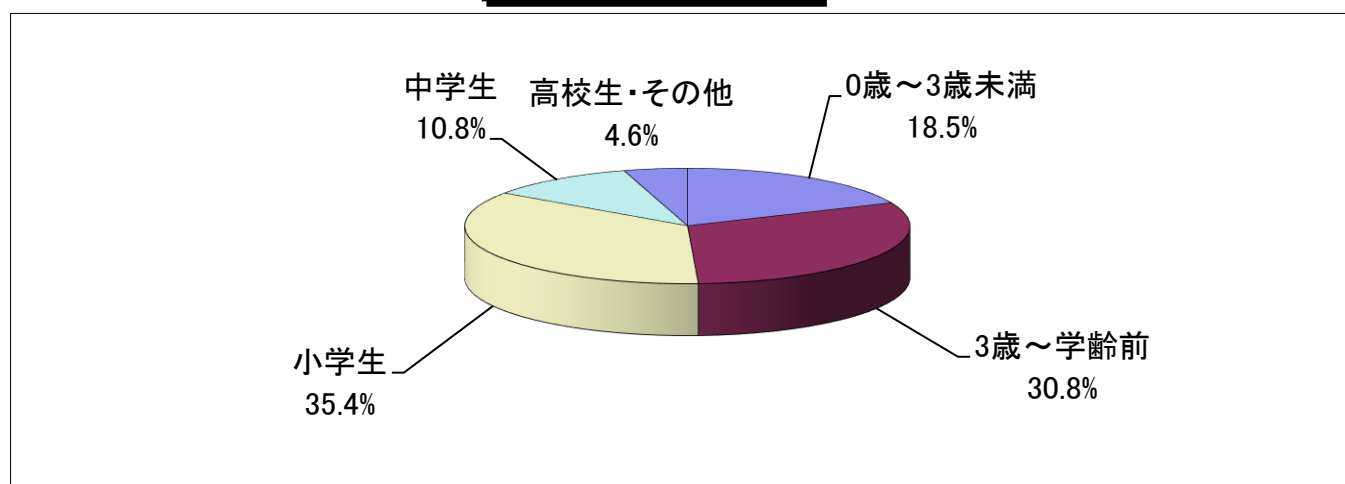


○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が116件（34.9%）、3歳～学齢前が93件（28.0%）、中学生が58件（17.5%）、0歳～3歳未満が46件（13.9%）等となっている。

(4)-2 被虐待者の年齢(市町村)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R2年度	58	19.9%	102	34.9%	101	34.6%	28	9.6%	3	1.0%	292	100.0%
R3年度	36	18.8%	49	25.7%	67	35.1%	29	15.2%	10	5.2%	191	100.0%
R4年度	36	18.5%	60	30.8%	69	35.4%	21	10.8%	9	4.6%	195	100.0%

○被虐待者の年齢



○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が69件（35.4%）、3歳～学齢前が60件（30.8%）、0歳～3歳未満が36件（18.5%）、中学生が21件（10.8%）等となっている。